

・登米高等学校 志教育実践事例

活動名

登米高等学校「職業人インタビュー」

登米高校：1学年

普通科（101名）

か
か
わ
る

も
と
め
る

【活動のねらい】

- ・（インターンシップの中止に伴い）事業所での体験はできなかったが、社会人として働いている人にインタビューを行うことで働くこと的一端を知り、自分のキャリア形成（勤労観、職業観の育成）に役立てる。

[志教育の視点]

- ・地域の職業を知る。（かかわる）
- ・実際に働いている人へのインタビューによって大切にしている価値観等を知ること、自分のキャリアについて考えを深める。（もとめる）

〈活動の流れ〉

- ・総合的な探究の時間で事前学習及び事後学習を実施した。（週1時間）
- ・地域の企業、自治体など20の事業所に協力いただき、21名の講師のみなさんにご協力いただいた。事業所の選定についてはインターンシップ実施企業を中心に依頼した。あらかじめ生徒が考えた質問を送付し、インタビュー当日に回答いただくこととした。
- ・生徒は4～6名程度のグループに分かれて学習した。事前学習で事業所の概要を調べ、質問事項を考えた。また、事後学習で報告書を作成し、わかったことをまとめた。社会人になってからも学び続けることの大切さなど初めて知ったことも多く、生徒の学びにつながった。

ポイント

アンケートにより
関心のある事業所
が少なくとも1つ
は入るように設定

当日は連携した法人の
協力でオンラインによる
インタビューを実施



夢や志をはぐくむ手立て

- ・地域の産業や仕事を知る機会であることにも着目させる。
- ・インタビューや質問づくりを通して仕事をしていくうえで大切にしたいことや価値観などを考えさせるきっかけとする。